

登録コード	J5380300	開講年度	2026					
授業科目	実践データ分析Ⅲ					担当教員	廣瀬 要輔	
英文授業名	Practical Data AnalysisⅢ					副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限		対象学年	(20・23カリ対象科目) 経：3年/法：3年
講義室	経法203講義室			授業区分	演習	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】	
	経法20加							
	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につける。					⇔	経済学が積み上げてきた知識として、企業・市場をミクロ経済学の視点から実証的に分析できる力を身につけ、それを発揮できるようになる。	
	経法23加（2026改）・応用経済，経法23加・応用経済							
	専門知識を応用・実践する力として、計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価，実験経済学による社会制度の機能の検証，医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘，法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証，などのスキルを習得し，経済の実情に即した政策提言，あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。					⇔	専門知識を応用・実践する力として、企業・市場にかかわる様々な事象を計量的分析手法により分析できるようになる。	
	環境問題，少子高齢化，自然・経済リスクの管理，コーポレート・ガバナンス等の法制度がかかわる問題などについて，現実に関連領域との協力が必要となる。このために，関連する分野の考え方を正しく理解して経済学的分析手法との相違を把握し，経済学の知見を，柔軟にまた建設的に応用できる能力を身につける。					⇔	関連する分野の考え方を正しく理解して経済学的分析手法との相違を把握し、経済学の知見を、柔軟にまた建設的に応用できる能力として、企業・市場に関連する様々な話題に対して自ら課題を設定し、分析できるようになる。	
	経法23加（2026改）・総合法律，経法23加・総合法律							
	環境問題や，企業や行政の組織内において，日々生起する諸問題について，理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち，総合的に解決していくことのできる能力を身につける。					⇔	経済学分野の思考方法に基づき、企業・市場に関連する課題を自ら見出し、ミクロ経済学および計量的分析手法を用いて分析できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム	ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース							
(4)授業の概要	この演習では、①実証分析のテーマを設定、②データを収集・分析し、③得られた結果を分かりやすくまとめる作業をおこなっていきます。 ※ 2026年度の「実践データ分析Ⅲ」は、16・20カリキュラムの「政策企画実習」（演習・実習を併用する形態の科目）の読替科目ですが、演習のみおこない実習はおこないません。							
(5)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 最小二乗法のおさらい 第3回 プロビットモデル (1) 第4回 プロビットモデル (2) 第5回 操作変数法 (1) 第6回 操作変数法 (2) 第7回 パネルデータ分析 (1) 第8回 パネルデータ分析 (2) 第9回 グループワーク 第10回 グループワーク 第11回 中間発表 第12回 グループワーク 第13回 グループワーク 第14回 発表 第15回 これまでのまとめ（最後の15分で授業評価アンケートを実施します） 履修人数や履修者の興味に応じて内容を変更することがあります。							
(6)成績評価の方法	グループワークにおける貢献 (30%)、他のグループ発表に対するコメント (20%)、プレゼンテーション (50%)							
(7)成績評価の基準	「(4)成績評価の方法」で記した①グループワークにおける貢献、②他のグループ発表に対するコメント、③プレゼンテーションの3点により評価します。これらのうち、3点すべてが秀でているのであれば「卓越している」、いずれか2点で秀でているのであれば「かなり上にある」、いずれか1点で秀でているのであれば「やや上にある」と評価します。上記の3点で最低限の水準を満たしている場合「合格水準にある」と判定します。							
(8)事前事後学習の内容	この演習では、自分達の手でデータを収集・分析していく必要があるため、事前に必要な分析方法を理解しておく必要があります。このため配布資料をよく読んで復習してください。また、プレゼンテーションの際に寄せられた質問やコメントを振り返り、分析をよりよいものにすることも求められます。							
(9)履修上の注意	この演習では、データの収集や分析をパソコンを用いておこなっていくことになります。このため、インターネットに接続できるノートパソコンを各自で持参してください。							

(9)履修上の注意	この演習では、R・RStudioを用いて統計分析をおこないます。このため、R・RStudioの使用経験を持つことが推奨されます。
(10)質問,相談への対応	演習という性質上、授業内での活発な質問・議論が歓迎されます。授業内で質問ができない場合はeALPSやメールにより質問を受けます。メールアドレスやオフィスアワーについては初回授業でお知らせします。
【教科書】	特にありません。
【参考書】	授業内で適宜提示します。